

# 千葉県言語聴覚士会ニュース

NO.15 2005 年 8 月 13 日

目 次	
新理事の紹介 .....	1
総会報告、学術局から .....	2
施設紹介 .....	5
臨床こぼれ話 .....	6
理事会等報告 .....	7
求人情報 .....	9
事務局から .....	11

## 2 年間よろしくお願いします

平成 17 年 6 月 26 日（日）に行われた千葉県言語聴覚士会第 5 回総会において、新役員が正式に承認されました。県士会創設以来 4 年間務められた村西前会長、竹中前理事、神作前理事が退任され、役員が大きく代わりましたので、ここで新役員を紹介いたします。

### 【会長】野島 洋子（千葉県立袖ヶ浦養護学校）

千葉県言語聴覚士会の発足から 4 年がたち、会員数も 200 名を超え、若い会員の増加と老健施設や教育などと言語聴覚士の職域の広がりが見られます。言語・聴覚障害児者の生活の質の向上を考えたときに、今後もよりよいサービスの提供を目指して、私たち自身の資質の向上に努め、老健施設、病院、福祉施設、学校などの連携を図り、地域社会における、保健・医療・福祉・教育の発展と充実に今後も寄与していきたいと考えています。

### 【副会長】宇野 園子（我孫子市身体障害者福祉センター）：社会局 広報部

このたび副会長に就任しました宇野園子です。広報部担当理事としてホームページを充実させ、会員のみならず広く社会の皆様のお役に立つ情報を収集、発信して行きたいと思っております。よろしくお願い致します。

### 【副会長】斉藤 敬子（塩田病院）：学術局

このたび副会長に就任致しました、斉藤敬子です。学術局の担当となります。よりよい研修会を目指して、多くの方々にご参加いただけるよう努力してまいります。よろしくお願い致します。

### 【副会長】野原 信（千葉県千葉リハビリテーションセンター）：事務局 総務部

事務局総務部を担当させていただく野原と言います。ちなみに出身は栃木県で栃木なまりがいまだに抜けませんが、千葉県の理事としてがんばりますので、2 年間よろしくお願いいたします。

### 【理事】岡田 淳一（柏の葉北総病院）：事務局 財務部

責任のある仕事に緊張しておりますが、たくさんの方々とは知り合える機会なので、視野を広げ取り組んでいきたいと思っております。これから 2 年間よろしくお願いいたします。

### 【理事】庄司 和史（筑波大学附属豊学校）：社会局 渉外部

豊学校乳幼児教育相談で、初回面接、聴力検査、補聴器適合、保育等を担当しています。教育畑しか知りません。ご迷惑かけるとは思いますが宜しくお願いします。日本教育オーディオロジー研究会の事務局もやっています。

### 【理事】四方田 博英（松戸神経内科）：学術局

少しでも県士会および会員の皆様のお役に立てるよう全力を尽くしたいと思っております。今は責任の重さを知り身の引き締まる思いです。どうぞよろしくお願いいたします。

### 【理事】斎藤 真純（千葉県こども病院）：事務局 編集部

事務局編集部として主にニュースの発行を担当いたします。不慣れで皆様にご迷惑をおかけすることがあるかもしれませんが、精一杯がんばりますので、よろしくお願いいたします。



## 第 5 回千葉県言語聴覚士会総会の報告

日時：平成 17 年 6 月 26 日（日）13 時 04 分～13 時 48 分 場所：千葉大学医学部附属病院 第 3 講堂

議長：根本 達也（亀田総合病院） 副議長：斉藤 順子（成田市ことばの相談室）

書記：大長 智代子（千葉脳神経外科病院） 酒井 千代（佐倉厚生園）

会員数：208 名、出席者数：128 名（当日参加 38 名、議長委任 90 名）

・報告事項：平成 16 年度活動報告、決算報告、会計監査報告、細則変更の報告がなされました。

・協議事項：1．第 1 号議案 平成 16 年度決算報告の承認に関する件

2．第 2 号議案 新役員の承認に関する件

3．第 3 号議案 平成 17 年度活動方針案に関する件

4．第 4 号議案 平成 17 年度予算案に関する件

以上の件が提出され、賛成多数により承認されました。

## 学術局から

### 1. 平成 17 年度第 1 回研修会報告

平成 17 年 6 月 26 日（日）千葉大学医学部附属病院 3 階第 3 講堂にて、平成 17 年度第 1 回研修会が開催されました。今回は講師として、失語症者の社会支援等で幅広くご活躍されている遠藤尚志先生をお招きし、ST が行う介護保険事業についてご講演いただきました。また、講演終了後交流会を行いました。参加者は 78 名（会員・会友：61 名、会員外 9 名、学生 8 名）でした。当日行ったアンケート結果の一部をご紹介します。

講 師：（有）言葉生活とリハビリ研究所 デイサービスはばたき代表 遠藤尚志先生

テーマ：ST が創業した介護保険事業 ～失語症デイサービス「はばたき」ができるまで～



#### アンケート結果

- ・ 病院での訓練を終えた方々のその後のフォロー、ケアといった面について話を聞く機会があまりなかったものでとても良かったです。
- ・ ST としての関わり方にも、いろいろな形があるということが理解できました。
- ・ 病院に勤める ST ですが、入院や通院での環境下で、障害を持つ患者さんと関わることに限界を感じていたので、遠藤先生のお話は今後の方向を考える機会になりました。

なりました。生活をどう支援していくか、その部分にも関われば良いと思いました。遠藤先生の有言実行の姿勢に心を打たれました。

- ・ デイサービスを始めるまでの苦労や注意点、そして先生の失語症患者様、その御家族に対する熱い思いと暖かい配慮にとっても感動しました。老人保険施設で働いていたこと、現在の仕事についても改めて考えさせられ、励まされるお話でした。
- ・ 失語症デイケア、デイサービスは患者さん、家族そして医療従事者からも求められているものだということが伝わってきました。具体的なすすめ方、友の会の運営の仕方、活動内容をもっと聞かせていただきたいと思いました。

（看護師の方より）まだ漠然としていますが、失語症者の方の看護について考えていきたいと思っています。看護師に求められているものは何かを考え、それを実践していけたらと思います。

#### 《学術局より》

多くの方の研修会への参加、アンケートへのご協力ありがとうございました。失語症者の地域での社会支援、また ST の役割について改めて考えさせられた、という方も多かったようです。これからもたくさんのご意見をお待ちしております。

## 2. 研修会のお知らせ（別紙もご参照下さい）

### 平成 17 年度第 2 回研修会

今回の研修会は、「特別支援教育」をテーマにシンポジウムを行います。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

- \* 日時：平成 17 年 9 月 11 日（日） 13 時～16 時 30 分
- \* 会場：千葉大学医学部附属病院 3 階第 2・3 講堂
- \* 内容：シンポジウム  
「特別支援教育における言語聴覚士の役割 ～よりよい連携をめざして～」  
シンポジスト：加藤 哲先生（千葉県教育庁特別支援教育課）  
小野 学先生（川崎市東菅小学校コーディネーター）  
石田 宏代先生（北里大学医療衛生学部言語聴覚士）  
高橋 理恵先生（我孫子市教育研究所）  
司 会：知念 洋美先生（千葉県千葉リハビリテーションセンター）  
松本 恵子先生（八千代市立勝田台小学校）
- \* 参加費：会員・会友無料、会員外・学生 500 円
- \* 申し込み・問い合わせ先：〒299 - 5235 千葉県勝浦市出水<sup>いであみず</sup>1221  
塩田病院 リハビリテーション科 言語聴覚士 斉藤敬子  
TEL：0470 - 73 - 1221 FAX：0470 - 73 - 1224  
（お電話によるお問い合わせは 17：30～にお願い致します。）

## 3. 研修会ビデオの貸し出し

これまでにを行った研修会ビデオの貸し出しを行っています。下記の要領でお申し込みください。

貸し出し期間：1 ヶ月

方法：返信用封筒（B5 または A4 サイズ）に住所、氏名を書き、切手（ビデオ 1 本 270 円分、2 本 390 円分）を貼って送ってください。

宛先：〒271-0043 松戸市旭町 1-160 松戸神経内科 地域リハビリテーションセンター 四方田 博英  
貸し出しビデオ：

- 「ST がおこなう高次脳機能障害の臨床」 講師 鈴木 勉先生（東京都立墨東病院）
- 「言語発達遅滞：関係の中で育つことば」 講師 長澤 泰子先生（日本橋学館大学）
- 「脳卒中の摂食・嚥下障害 -臨床の実際-」 講師 矢守 麻奈先生（都立駒込病院）
- 「重複障害児の AAC -日常生活と ST 訓練を結ぶ-」  
講師 知念 洋美先生（千葉県千葉リハビリテーションセンター）
- 「記憶障害の臨床像と対処法 -症例を通して-」 講師 安田 清先生（千葉労災病院）
- 「慢性期重度コミュニケーション障害者への支援 -通院及び通所（デイケア）リハビリテーションにおける言語訓練と生き甲斐作り-」 講師 横張 琴子先生（松戸神経内科）
- 「コミュニケーションの発達と支援 -前言語期から言語獲得に向けて-」  
講師 長崎 勤先生（筑波大学）
- 「脳外傷の高次脳機能障害 -認知・コミュニケーション障害の評価-」  
講師 藤田 郁代先生（国際医療福祉大学）
- 「ST が創業した介護保険事業 ～失語症デイスサービス「はばたき」ができるまで～」  
講師 遠藤 尚志先生（言葉生活とリハビリ研究所 デイスサービスはばたき代表）

\* 貸し出しについての注意

ビデオの販売はしません。ダビングは禁止です。ビデオを紛失、破損した場合はご連絡ください。ビデオテープの代金を弁償していただきます。

## 4. 研修会資料の送付

希望者に研修会資料の配布を行っています。返信用封筒（A4 サイズ）に住所、氏名を書き、切手（200 円分）を貼って送ってください。あて先はビデオ貸し出しと同様です。

対象資料：上記のビデオ、の資料及び下記のとおりです。

症例検討会「成人の高次脳機能障害」

発表者：武田 智子先生（千葉中央メディカルセンター） 酒井 千代先生（佐倉ホワイエ）

助言者：鈴木 勉先生（都立大塚病院） 相見 優子先生（下総病院他）

症例検討会「小児のコミュニケーション障害」

発表者：小宮山 則彦先生（亀田クリニック） 依田 美都先生（帝京大学市原病院）

助言者：田中 康雄先生（国立精神・神経センター国府台病院）

知念 洋美先生（千葉県千葉リハビリテーションセンター）

「脳外傷の高次脳機能障害 - 認知・コミュニケーション障害の評価 - 」 講師 藤田 郁代先生

症例検討会「ADHDが疑われる小学2年生の指導 -関係機関との連携をとって-」

発表者：渡邊 裕貴先生（印西市ことばの発達相談室）

齊藤 恵美子先生（印西市立内野小学校ことばの教室）

助言者：森永 良子先生（白百合女子大学）

「千葉県における新生児聴覚スクリーニング事業について ~早く見つかった良かったと思えるシステムをめざして~」

基調講演：「新生児聴覚スクリーニングの現状と展望」

講師：工藤 典代先生（千葉県こども病院耳鼻咽喉科）

シンポジスト：福島 朗博先生（筑波大学附属聾学校乳幼児教育相談室）

斎藤 真純先生（千葉県こども病院耳鼻咽喉科）

田辺 佳子先生（千葉市療育センターやまびこルーム）

症例検討会（成人）「他職種との連携」

発表者：大石 芳恵先生（松戸神経内科） 伊瀬知 真実子先生（八千代ケアセンター）

コメンテーター：大塚 剛先生（理学療法士・ロータスケアセンター、板倉病院）

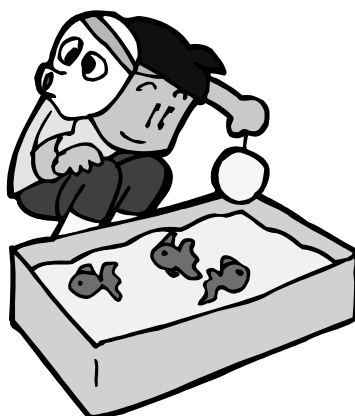
勝又 綾子先生（ユー・アイ久楽部他）

ST が創業した介護保険事業 ~失語症デイスサービス「はばたき」ができるまで~

講師：遠藤 尚志先生（言葉生活とりハビリ研究所 デイスサービスはばたき代表）

## 5. 地域の勉強会について

平成 15 年度から会員の皆様のご協力により、地域の勉強会が開催されています。ホームページにて情報を公開しておりますので、「千葉県内で行われる地域の勉強会情報」をご参照の上、奮ってご参加ください。希望者にはメールマガジンでのアナウンスも行っていますので、そちらもご参照ください。



## 施 設 紹 介

### ケアセンター きさらづ ..... S T 平井 智子

当施設は木更津市に平成 6 年に開設した介護老人保健施設です。施設周辺は田園に囲まれ、晴れた日には富士山を眺望できるというのどかな環境にあります。当施設は定員が入所 170 床（うち認知症専門棟 58 床）、通所 30 名で現在は入所 160 名（うち認知症専門棟 54 名）、通所 30 名の方が利用されています。また居宅介護支援センターが併設されており、療養型病院である高名清養病院が隣接しています。

私どもの施設では四季折々さまざまな催し物が月に一回施設全体で行われます。（お誕生日会、ひなまつり、お花見、七夕、運動会、クリスマス会など。）なかでもひとときわ盛大に行われるのは 9 月にある敬老会です。地域の和太鼓・鼓笛隊の演奏やよさこい、また模擬店も出店し、利用者やそのご家族だけでなく地元の皆様もお招きして大変盛り上がります。

現在 S T 1 名で言語・摂食嚥下訓練を主に実施しております。回復期～慢性期の方まで幅広く利用されております。今後は家庭復帰を目的に日常生活に密着したグループ訓練をより積極的に取り入れていきたいと思っております。

所在地：〒292 - 0054 木更津市長須賀 1239 番地 TEL 0438 - 22 - 5544

### 子すずめ保育園 ..... S T 清水 幸代

『小さな生命がすずめのようにたくましく育ってほしい』の希望をこめて、昭和 46 年に社会福祉法人「竹友会」子すずめ保育園が設立されました。全国でも保育園内に言語聴覚士がいることが珍しいことであり、実現できたのは、現園長のはたらきかけがあったからこそと思っています。

ある時、サ行がタ行に置換する幼児を園長が引率し、発達センター内のことばの教室を訪れました。数回の指導できれいな発音になったことの驚きと共に、園内に言語聴覚士の必要性を強く感じたそうです。また園児の親は働いているので、ことばに問題があるとわかっていても専門的な機関に通えない状況があります。このような経緯があり、言語聴覚士をおくきっかけとなったわけです。

私の役割には 2 つの柱があります。1 つは言語指導にあたることです。現在、在園児 5 名、卒園児（学童）2 名、その他 2 名が通っています。在園児は平日に指導を行い、指導内容は連絡ノートで知らせ、学期に 1 回は親と面談も持っています。担任との情報交換も密にでき、指導も順調に進めることができます。在園児以外の指導は土曜日にあて、学童も通えるようにしています。

もう一つの柱は、ことばの相談を受けることです。昨年度 10 月から子育て支援として地域に施設開放しています。専門の保育士と共に、友だちの輪を広げてもらうためのお手伝いをしています。そこでは「中耳炎が長引いて聞こえが悪いように思う」「いつまでも赤ちゃんことばでいいのか？」等の声を聞きます。相談内容により、必要に応じて専門機関を紹介するアドバイスもしています。

こうして子育て中のお母さん達の話聞き、いきいきとした元気な子すずめ達と触れ合い、私も鋭気をもらいながら楽しく仕事に励んでいます。

所在地：〒270 - 2253 松戸市日暮 1 - 8 - 4 TEL 047 - 387 - 9874 FAX 047 - 385 - 4728

# 臨床こぼれ話

## 『定年退職して3年目の今』

早いもので、千葉市療育センターを退職（定年）して3年目に入った。退職したのがもうずいぶん昔の様にも、つい半年前の様にも思える。この間、千葉市障害者福祉センターで成人（18歳以上）の聴覚障害・言語障害の方とのお付き合いを、今年の3月までは週5日、4月からは週3日（言語聴覚士）している。また、4月からは月2日、東京都高齢者福祉振興財団の福祉用具の専門相談員（補聴器・コミュニケーション機器など、聴覚障害関連機器）の仕事も始めた。

福祉センターに再雇用で就職したのは、大学を出て1年OLをして、OLは自分に合っていないと分かり、その後今で言う自分探し（？）をして、大学に入りなおしこの世界に飛び込んで34年、ことばときこえの教育相談員、臨床言語士、言語訓練士、言語聴覚士と職種の名称は就職先とその時期で異なるが、聴覚・言語障害児者との関わりを続けてきたことが、退職ということで臨床を離れ、いきなり毎日日曜日の日々に我ながら耐えられそうにもないという思いが強かったからである。また、療育センターに在職中は主に乳幼児で、特に最後の数年間は難聴幼児の通園施設に専念していたので、成人を対象とした臨床家として改めてやっていけるか、自分に対して確かめたいとの思いもあった。さらに療育センターで培ったことを成人の方々に繋げ、またその逆のこと、成人の方で得たものを何らかの形で子どもたちに帰していければとの思いもあった。

今思うと気負って大それたことをと気恥ずかしいが、その当時は真面目にそう思って、再就職したのである。聴覚障害者の方の臨床はともかく、失語症の方の評価や訓練の勘を取り戻すのに半年近くかかり大変だった。2年半経とうとする今、まだまだ道半ばであるが自分なりの臨床が出来るようになり、仕事自体は楽しい。

しかし今年度から週3～4日勤務で時間的には余裕が出来たはずなのに、週末にかけて学会や研修会などがあって参加すると必ず体調を崩してしまい、週末はひたすら元気回復に没頭しなければ次週は使いものにならない状況にある。最近、立て続けに足（指）の骨折や歯痛から発熱し、顔が腫れあがってしまう目に再三遭うと、そろそろ年貢の納め時かなとも思う。高校以来45年振りに始めたコーラス（地域の混声合唱団・アルト・コミュニティーセンターで週1回練習）や難聴児を持つ親達の活動の援助、そして家の中（家事）のことなど、もう少しちゃんとやる時期に来ているのではないかと考え込んでいる昨今である。

さて話は変わるが、この数年インテグレーションの考えのもと、難聴児・者を取り巻く状況は人工内耳術、新生児聴覚検査、手話使用及びその理解、高性能な補聴器（デジタル）開発と使用、などの広まりに見られるように大きく変わってきている。難聴乳幼児の療育・教育においても同様である。これらの事柄に当事者の親として主体的に取り組みたいと、数年前より千葉県下に「難聴児を持つ親の会」を作りたいと努力してきている。なんとか今年度中には立ち上げられそうである。今後、私もその活動を援助し共にやっていきたいと考えている。

千葉市障害者福祉センター 塘 まゆり

---

「臨床こぼれ話」への投稿をお待ちしております。送付方法は、郵便、FAX（送付票付）またはE-mailで「事務局」あてにお願いします。

---



## 理事会・委員会報告

### 平成 17 年度 理事会

#### 第 1 回

日時：2005 年 4 月 1 日（金） 19：10～23：30 場所：緑ヶ丘公民館 和室

出席者：勝又、神作、柴田、竹中、野島、野原、村西(以上理事 7 名) 田中（書記） 長谷川（実態調査委員会委員長）  
（事務局より） ・関連職能組織からの送付物について ・日本言語聴覚士協会入会申込書の送付について  
・平成 16 年度活動報告について ・新入会員の承認について ・次期役員の推挙について  
（学術局より） ・平成 16 年度活動報告について  
（実態調査委員会より） ・特別支援教育に関するアンケートについて

#### 第 2 回

日時：2005 年 4 月 17 日(日) 13：10～17：00 場所：高洲コミュニティーセンター 大広間 2

出席者：勝又、神作、柴田、竹中、野島、野原、村西(以上理事 7 名) 田中（書記）  
（事務局より） ・関連職能組織からの送付物について ・退会届および名簿記載事項変更届の作成について  
・第 5 回総会について ・次期役員の推挙について  
（社会局より） ・平成 16 年度活動報告について  
（実態調査委員会より） ・特別支援教育に関するアンケートについて

#### 第 3 回

日時：2005 年 5 月 2 日（月） 19：50～24：00 場所：千葉大学医学部附属病院 リハビリテーション室

出席者：勝又、神作、柴田、竹中、野島、野原、村西(以上理事 7 名) 田中（書記） 山本（監事）

長谷川（実態調査委員会委員長）

（事務局より） ・関連職能組織からの送付物について ・会長業務要綱について ・平成 16 年度一般会計決算について  
・分掌規定について  
（学術局より） ・平成 17 年度活動方針について  
（社会局より） ・平成 16 年度活動報告について  
（実態調査委員会より） ・「千葉県の特別支援教育の在り方について（提言）中間まとめ」に関する千葉県言語聴覚士会からの意見（案）について  
（監事より） ・平成 17 年度活動及び会計監査について

#### 第 4 回

日時：2005 年 5 月 8 日（日） 10：20～17：00 場所：千葉市療育センター 第 3 会議室

出席者：勝又、神作、柴田、竹中、常田、野島、野原、村西(以上理事 8 名)

宇野、岡田、庄司、斉藤敬子、四方田（以上理事当選者 5 名）田中（書記）

（事務局より） ・第 5 回総会、講演会について ・業務の引継ぎについて  
（学術局より） ・業務の引継ぎについて  
（社会局より） ・業務の引継ぎについて

#### 第 5 回

日時：2005 年 5 月 22 日（日） 13：15～17：00 場所：高洲コミュニティーセンター 集会室

出席者：勝又、神作、竹中、野島、野原、村西(以上理事 6 名)

宇野、岡田、斉藤敬子、斎藤真純、庄司（以上理事当選者 5 名）田中（書記）

（事務局より） ・第 5 回総会について ・分掌規定（案）について ・新入会員の承認について  
（学術局より） ・平成 17 年度第 1 回研修会について  
（社会局より） ・日本福祉のまちづくり学会第 8 回全国大会千葉県大会について



第 6 回

日時：2005 年 6 月 27 日（日） 10：00～10：30 場所：千葉大学医学部附属病院 第 3 講堂

出席者：勝又、神作、常田、野島、野原、村西（以上理事 6 名）

宇野、岡田、庄司、斉藤敬子、斉藤真純、四方田（以上理事当選者 6 名）田中（書記）

（社会局より） ・日本福祉のまちづくり学会第 8 回全国大会千葉県大会について

（事務局より） ・新入会員の承認について ・新事務局について

第 7 回

日時：2005 年 7 月 4 日（月） 19：31～21：00 場所：プラザ菜の花 サークル室 p a l B 室

出席者：宇野、岡田、斉藤敬子、斎藤真純、庄司、野島、野原、四方田（以上理事 8 名）三原（書記）

（事務局より） ・関連職能団体からの送付物について ・県士会ニュースについて ・あいさつ文について

・メーリングリストについて ・広告掲載について ・日本言語聴覚士協会との連携について ・新入会員について

（学術局より） ・研修会について

（社会局より） ・ホームページについて ・パンフレットについて ・各委員会について

## **実態調査委員会**

第 1 回

日時：2005 年 6 月 18 日（土） 9：30～12：00 場所：千葉大学医学部附属病院 リハビリテーション室

出席者：長谷川、松本、太田、野島（以上 4 名） 勝又（書記）

・アンケート結果について ・県教育庁への意見提出について ・今年度のアンケートについて ・研修会について

第 2 回

日時：2005 年 7 月 2 日（土） 9：30～12：00 場所：千葉大学医学部附属病院 リハビリテーション室

出席者：長谷川、野島、太田（以上 3 名） 勝又（書記）

・ホームページについて ・今後の課題について ・研修会について

## **新生児聴覚スクリーニング検討委員会**

第 1 回

日時：2005 年 5 月 5 日（木）9：30～12：00 場所：ガスト

出席者：荻洲、斎藤、庄司（以上 3 名） 勝又（書記）

・今年度活動方針について ・勉強会の開催について

第 2 回

日時：2005 年 6 月 25 日（土）10：00～12：00 場所：千葉市療育センター

出席者：荻洲、斎藤、庄司、高橋、村西（以上 5 名） 丸橋（書記）

・勉強会の開催について（時期、内容、対象など）

（紙面の都合上、報告事項と協議事項はまとめて記載しています。）

## ..... 求人情報 .....

(2005 年 8 月 1 日現在)

詳細は、千葉県言語聴覚士会ホームページをご覧ください。

### **千葉県療育センター難聴幼児通園施設 やまびこルーム**

募 集：言語聴覚士 臨時職員 1 名 (年齢 60 歳未満)  
対 象：0 歳児から就学前の聴覚障害児の聴能言語指導  
そ の 他：午前 9 時～午後 5 時 月曜日から金曜日(応相談) 随時～平成 18 年 3 月 31 日まで  
期間の満了により退職(退職手当は支給されません)  
時給 1300 円、交通費 1 日 600 円まで、健康保険・厚生年金・労災保険加入  
応募方法：市販の履歴書に写真を貼り、資格の写しを添え下記宛に申し込みください  
問合せ先：〒261-0003 千葉県美浜区高浜 4-8-3 千葉県療育センター 事務局 石井

### **千葉県障害者福祉センター**

募 集：言語聴覚士 非常勤 1 名  
対 象：成人(失語症、聴覚障害、構音障害、その他の言語障害)  
そ の 他：9 時～17 時 週 2 回より、土日勤務あり(勤務日応相談)  
雇用日から平成 18 年 3 月 31 日、時給 1300 円  
問合せ先：千葉市中央区千葉寺町 1208-2 千葉市ハーモニープラザ 1 階  
TEL 043-209-8779 担当 蒔田(まきた)

### **介護老人保健施設 ハートケア流山**

募 集：言語聴覚士 常勤・非常勤  
対 象：成人失語症、構音障害、高次脳機能障害、嚥下障害(入所 120 名、通所 36 名)  
そ の 他：常勤週 40 時間、非常勤週 2～3 日(時間は応相談)  
問合せ先：千葉県流山市小屋 146-1 TEL 04-7178-2200 [riha@hc-nagareyama2200.jp](mailto:riha@hc-nagareyama2200.jp)  
電話・メールにてお問合せ下さい。

### **医療法人心和会 新八千代病院**

急募

募 集：言語聴覚士 常勤 1 名 (経験者希望)  
対 象：成人言語障害・嚥下障害  
そ の 他：8 時 30 分～17 時(週休 2 日制)当院規定優遇 交通費全額支給  
問合せ先：〒276-0015 八千代市米本 2167 TEL 047-488-3251 FAX 047-488-8807  
事務長 板垣、リハビリテーション科科长 藤田

### **医療法人社団健脳会 千葉脳神経外科病院**

急募

募 集：言語聴覚士(有資格者) 1 名  
そ の 他：8 時 30 分～17 時、4 週 7 休、初任給 24 万円、有給初年度 10 日(入職半年後)  
夏休、年末年始休暇有り、各種社会保険完備、できるだけ早く勤務して頂けるかた。  
問合せ先：〒263-0001 千葉市稲毛区長沼原町 408 TEL 043-250-1228(代)  
担当 リハビリテーション科 岡本 <http://www.chiba-nougeka.or.jp/>

## 介護老人保健施設 ユーカリ優都苑

募 集：常勤または非常勤

対 象：入所（一般・ショートステイ）96 名、通所リハ 40 名

そ の 他：千葉県佐倉市青菅 1010 - 15、開設 平成 17 年 6 月

問合せ先：開設準備室 P T 加藤さん 佐倉市南ユーカリが丘 11 - 2 S Y ビル TEL 043 - 460 - 7117

<http://www.yutoen.com>

## 千葉県身体障害者福祉事業団 千葉リハビリテーションセンター

募 集：言語聴覚士 非常勤

対 象：成人（臨床経験のある方）

そ の 他：週 2 日（16 時間） 曜日・日数 応相談、平成 17 年 7 月 1 日～平成 18 年 3 月  
給与 学歴・経験年数による加算あり

問合せ先：043 - 291 - 1831（内線 261・252） [hiromi.chinen@chiba-reha.jp](mailto:hiromi.chinen@chiba-reha.jp)

## 千葉中央メディカルセンター

募 集：言語聴覚士 常勤 1 名（新卒・経験問わず）

対 象：成人 高次脳機能障害、構音障害、摂食嚥下障害

問合せ先：〒264 - 0017 千葉市若葉区加曽利町 1835 - 1

千葉中央メディカルセンター リハビリテーション課 工藤 TEL 043 - 232 - 3691

## 医療法人沖縄徳洲会 はさまレインボークリニック

急募

募 集：言語聴覚士 非常勤 1 名（経験者優遇）

対 象：通所リハビリテーション 利用者（定員 40 名 入所なし）

そ の 他：平日週 2 回 各半日程度、出勤日など委細応相談、平成 17 年 4 月より  
時給 2000 円、年 2 回賞与（2～5 万円） 交通費全額支給、有給休暇あり

応募方法：市販の履歴書（写真貼付） 資格の写し又は卒業見込証明書を郵送または持参

問合せ先：〒274 - 0822 船橋市飯山満町 3 丁目 1345 - 1

東西線直通 東葉高速鉄道 飯山満駅徒歩 5 分

医療法人沖縄徳洲会 はさまレインボークリニック 事務長代行 蔵本

TEL 047 - 496 - 3883 <http://www.tokushukai.or.jp>

## 医療法人社団恵仁会 セントマーガレット病院

急募

募 集：言語聴覚士 有資格者もしくは資格取得見込みの方

そ の 他：平成 17 年度初任給 理学療法士 23 万、既卒者は経験による、昇給年 1 回、賞与年 3 回  
年間休暇 104 日、年次有給休暇（入職半年後）10 日、夏期休暇・年末年始休暇あり  
各種社会保険完備、24 時間保育室完備、交通費上限 35000 円

応募方法：有資格者 履歴書（写真添付） 免許証（写）

在学中者 履歴書（写真添付） 卒業見込み証明書、成績証明書、健康診断書

採用試験、見学は随時受付

問合せ先：〒276-0022 千葉県八千代市上高野 450 医療法人社団 恵仁会 セントマーガレット病院

TEL 047 - 485 - 5111 FAX 047 - 484 - 1119 <http://www.st-marguerite.or.jp/>

[jinzai@st-marguerite.or.jp](mailto:jinzai@st-marguerite.or.jp)

## 坂の上外科

募 集：言語聴覚士 常勤もしくは非常勤 1 名  
対 象：一般外来リハ、通所リハ、訪問リハ、療養病床 12 床、一般病床 7 床  
そ の 他：8 時 30 分～17 時 30 分（応相談）勤務日 応相談、待遇 当院規定優遇  
問合せ先：千葉市緑区土気町 311 TEL 043 - 294 - 5551 FAX 043 - 294 - 6513  
リハビリテーション科 PT 波平（なみひら）

## 医療法人静和会 浅井病院

募 集：言語聴覚士 常勤（経験者希望）  
対 象：成人の失語症、dysarthria、摂食・嚥下障害等  
問合せ先：〒283 - 8650 千葉県東金市家徳 38 - 1 TEL 0475 - 58 - 5000（代表）  
企画管理浅岡・ST 若梅

## 医療法人社団圭春会 小張総合病院

募 集：言語聴覚士  
対 象：成人、小児の言語障害  
そ の 他：4 週 8 休、採用随時、給与 当院規定により優遇、経験加算有り、賞与 年 2 回  
問合せ先：〒278 - 8501 千葉県野田市横内 29 - 1 TEL 04 - 7124 - 6892  
リハビリテーション科 小林

## 事務局から

### 1．事務局が移転しました

会長交代に伴い、千葉県言語聴覚士会の事務局が移転しました。詳細は下記をご覧ください。  
各種申請書類の送付や問い合わせ先になります。おまちがえのないようお願いいたします。

### 2．県士会ニュースへの広告掲載

本年度より賛助会員の方への特典として、千葉県言語聴覚士会ニュース（本誌）に広告を掲載できるようになりました。詳細については、同封の資料（賛助会員のみ）を参照いただくか、県士会事務局までお問い合わせください。

### 3．新入会員のお知らせ（敬称略）

会員数：正会員 210 名 会友 22 名 賛助会員 2 団体

（平成 17 年 7 月 4 日理事会承認分まで）

... 正会員 ...

中嶋 敏子（帝京平成大学）

丸橋 亜矢（千葉医療センター）

平井 智子（ケアセンターきさらづ）

守田 圭子（高名清養病院）

松栄 千代子  
織茂 陽子  
山本 歩（千葉県こども病院）  
児島 美智子（千葉療護センター）  
堀越 麻衣（津田沼中央総合病院）  
瀬古 彩（ケアセンター習志野）  
佐野 基（千葉中央メディカルセンター）  
田野 公美子（千葉中央メディカルセンター）

根岸 朗子（千葉市療育センター）  
岩田 淳（白井市こども発達センター）  
村上 健（君津中央病院）  
久保木 晴香（ナーシングプラザ流山）  
龍 謙嘉（小見川総合病院）  
横山 由姫乃（下総病院）  
高品 紘子（柏の葉北総病院）  
長谷川 由美（メディケア君津）

... 会友 ...

吉谷 裕美（柳原リハビリテーション病院）



編集後記：大きな地震に台風、落雷と自然の脅威を見せつけられる毎日です。  
暑い日もまだまだ続きそうです。皆様くれぐれもお体を大切に。

事 務 局

〒272-0823 千葉県市川市東菅野 2-12-4 市川ことばの会 内

TEL/FAX：047-324-5023

E-mail：[chibakenshikai@zp.moo.jp](mailto:chibakenshikai@zp.moo.jp)

ホームページ：<http://chibakenshikai.moo.jp/> 会員専用パスワード：affordance